



令和5年5月31日
世羅中学校
 学校だより(第1号)
 TEL (0847)22-2323
 FAX (0847)22-2324

学校教育目標 【 自ら考え、判断し、行動できる生徒 】

まなびスペシャル I 『栗原文音さん』 から学ぶ！

5月24日(水)、元バドミントン日本代表 栗原文音さんをお招きして、まなびスペシャル I を開催しました。初めに、『意志あるところに道はある ～バドミントンを通して学んだこと～』という演題でお話をいただきました。トップアスリートとして活躍された栗原さんだからこそ、生徒の皆さんに伝えたいこと、それがとても感じられるお話でした。特に「努力すればみんながみんな、夢が叶うわけではない。しかし、これからの人生において絶対に返ってくる」というお言葉には、その言葉の重みを感じられました。生徒の感想の中には、「自分は、努力しても正直あまり変わらないと思っていたけど、話を聞いて、いつかは必ず返ってくるとわかって、まずは諦めないようにしようと思った。」というものもあり、心に響くお話であったことが伝わってきました。

その後のバドミントン教室では、生徒代表と対戦をしていただきました。生徒の皆さんもかなり頑張りましたが、やはり栗原さんはすごかったですね！ラケットがシャトルをはじく音、シャトルが空気を切り裂く音、本物のすごさを感じました。怪我をし、挫折をし、それでも「意志あるところに道はある」と前を向き続けた栗原さんの人としてのすばらしさを感じました。

☆まなびスペシャル☆ を終えて生徒に聞きました！『生きる』ってなに？

- ・自分自身を見つめて、自分のやりたいことなどに全力で挑戦すること
- ・周りの助けを借りて、自分自身のことを見つめ直すこと
- ・生きるとは、一人ひとりが個性を持つこと
- ・たくさん挑戦をして失敗して、成長していくこと
- ・生きるとは、自分と向き合うこと
- ・誰かに支えてもらいながら何かを成し遂げること



☆まなびスペシャル☆ 生徒の感想

栗原さんの話を聞いて、今まですぐに諦めていたことだったりとか、どうせ無理だからとやめてしまったことだったりとかを思い返して、諦めずにやっていたらよかったなと思いました。周りとは比べどだけ遅くても、夢に向かって努力し続けること、諦めない心というのは、これからの人生にとってすごく大切なことだということが分かりました。また、実際の試合を見て、とても迫力があって、ヒュン！という音がしてすごいと思いましたし、見ていてすごく楽しかったです。これからは何事にも、諦めず努力し続け、夢に向かって頑張っていきたいと思いました。私にとってまずは受験です。文音さんの話を思い出しながら精一杯頑張ろうと思います。改めて、世羅中学校に来ていただき、ありがとうございました。



部活動で世羅中生 燃える！！

5月13日(土)に広島県陸上競技選手権大会世羅郡予選、5月27日(土)、28日(日)に南部地区中学校春季総合体育大会が行われました。選手たちは、みんなそれぞれが持てる力を出し切り、よく健闘しました。これまで積み重ねてきた練習の成果を発揮しようと、最後まであきらめない姿が印象的でした。この度、結果が出た人も、悔しい思いをした人も、栗原さんが話されたように「これからの人生に絶対に返ってくる」ので、それを信じて今後さらに努力していきましょう。心から応援しています。

【広島県陸上競技選手権大会世羅郡予選】

- 2年男子100m 第2位 大西玲央
- 2年男子1500m 第2位 近藤 咲
- 共通男子800m 第1位 大山真伸
- 共通男子3000m 第1位 吉宗拓真
- 1年女子800m 第2位 松浦羽芽
- 共通男子走幅跳 第2位 大西玲央

【南部地区春季総合体育大会】

- サッカー部(甲山中との合同チーム) 準優勝
- 共通男子棒高跳 第1位 大西玲央



～ 大雨等による警報発令時の対応について ～

4月10日付けでお伝えしておりますが、世羅町に大雨等の警報が発令された場合の対応については、次のとおりです。ご理解・ご協力をお願いいたします。

- 1 生徒が在宅時に警報が出た場合
 午前6時の時点で、世羅町に警報が出ていれば、臨時休業となります。学校から連絡メールを使って臨時休業の連絡をします。
- 2 生徒が在校時に警報が出た場合
 下校時刻を変更して一斉下校する場合のみ、連絡メールを使って連絡をします。
 ※ 下校時の安全確保のため、教職員が通学路での下校指導をします。

